

「撮影・図録・PCに係る分科会」報告

第1回 平成30年1月8日(月) 13:00~ 於:東京都美術館

メンバー:永野、倉田、早田、富岡、土屋(石原欠席)

目的:新日美展の作品撮影と図録、ポストカード印刷に係るデータの処理方法の確立。データ入力の負担軽減と、正確さを確保しつつ初日にPC、図録を仕上がるようにするには、どのような方法が考えられるか模索する。

検討項目:

■ 受付No.「個別作品番号の事前付与」

この考えの元は、ポストカードの情報入力も含め早め早めに前倒しの処理をすれば

進みがよくなるであろうとの事だったが、逆に二重入力、二重校正になるのでミスが犯しやすくなると判断。

⇒**不採用**

個別作品番号を事前に記入された応募要項を配布しても、紛失の可能性や、

外部業者にも徹底するのは難しい。(従前の受付No採用 途中で変えないよう徹底する)

■ データベース項目の再検討

【分類】 会員区分 ⇒ 審査員・委員・会員・準会員・会友・一般

・キャプションに審査員の表示要求があったのでこの様な区分を提案

⇒審査員は賞札と同様なスタイルにする。部会では・会員・準会員・会友・一般の従来通りに決

⇒しかし、外部との話で、図録の掲出分類では委員の区分があるので

・委員・会員・準会員・会友・一般の区分に変更させていただきます。

【作品の分類】 部門 ⇒ 絵画・工芸

⇒ 絵画・工芸・絵画小品

種別 ⇒ 油彩・水彩・日本画・水墨画・版画・工芸・その他

⇒「絵画種別」・油彩・水彩・日本画・水墨画・その他

その他には⇒使用画材、材料を記入 工芸は前年同様別紙にて説明

■ 応募要項の見直し

様々な方面から様々な貴重なご意見を頂きました。それらを一応土屋が集約してみました。

別紙、「応募要項」案を参照してください。

⇒ハガキによるポストカード申し込みを止め、提出書類と一体化させる。

- ・ 作品撮影費⇒拒否以外、1作品あたり¥2,000

⇒応募者全員から撮影費、一人¥2,000徴収

全員撮影にしたのは、少数の為の撮影拒否オプションによる大きな流れの混乱を防ぐため。

他の団体ではホームページ掲載料が¥2,000でさらに図録代を別途申し受けるところもある。

- ・ 提出書類 PC申し込みハガキと一体なので少し厚紙

⇒A4[提出書類]裏面白紙 ハガキを使用しないので、他のA3の紙と同じ厚さ

⇒[3票]作品裏貼り付け用紙をA3の「出品までの準備」に移動

⇒[3票]の裏面に支部連絡先一覧追加(搬入問い合わせ用)

■ これからの課題

・「応募要項」案の再チェック ・絵画小品部門の内容説明及び賞内容等の修正

・会期内イベントの日程と内容 ・新日美入力データ校正方法の確立

・ST90へのデータ受け渡し方法の確立 ・ST90図録印刷データ校正方法の確立

・ポストカードと図録の印刷項目検討